

出席：小佐野・石川・塩谷・小西・長澤・渡部・山本・熊原
オブ参加：隈（全国理事）

開会に先立ち、前回の第 2 回常任理事会開催後に大阪管区気象台の中江祥浩氏に替わって、同じく大阪管区気象台の熊原義正氏が新幹事に指名された旨報告があった。

1 2007 年第 29 回夏季大学実行委員会の立ち上げについて

交通の便を考慮した開催地や会場の選定、テーマ及び講師の選定、土日を開催日とするなどの受講者の増加に結びつく方策の決定を早期に実現するため、来年度夏季大学実行委員会を立ち上げた。構成メンバーは小西常任理事を委員長とし、石川、塩谷、渡部各常任理事と山本、熊原両幹事、及び気象協会の奥田昌弘氏とした。要望のあったテキストのカラー化や事前配布、プレゼン資料の配布、及びアンケート結果の公表などの扱い等課題も多く、気象予報士会とも十分な意見交換を行って準備を進めることとした。第 1 回目の実行委員会は 2 月中に開催する予定である。

2 2006 年度地区例会の開催状況と今後の予定

第 1 回例会（中国地区）及び第 2 回例会（四国地区）はともに昨年 11 月に岡山大学と香川大学において開催され、盛況のうちに無事終了した。詳細は次号の支部ニュース（第 254 号）で報告される予定である。

・第 3 回例会（近畿地区）

開催日時：2007 年 2 月 23 日（金）10：00～17：10

例会会場：神戸大学瀧川記念学術交流会館（神戸市灘区六甲台町 1-1）

テーマ：「海洋と気象」（海洋気象学会と共催）

*現在 19 題の発表申し込みがあり、原稿を集約中である。

3 支部助成の奨励金への一本化に向けて

担当の塩谷、長澤両常任理事が関係内規や要領の修正等を準備し、3 月に開催する予定の次回常任理事会で案提示を行い、その案を理事会メンバーに回し、決裁をとる方針とした。改正案に基づき、次年度の事業計画を策定する。

4 支部ニュース（第 254 号）の発行

長澤常任理事から常任理事会の報告、今年度支部例会の報告、次年度夏季大学など今後の予定を内容として 3 月 20 日ごろの発行を目指す旨説明があった。

5 その他

2 月 19 日（月）に京都大学で開催される「平成 18 年度国土交通先端技術フォーラム」に対する気象学会関西支部の後援依頼が承認された。また、次年度総会を 6 月 23 日（土）に開催することを目指して、会場確保や「天気」等での広報に向けて準備を進めることが確認された。